

【山梨県】

県立特別支援学校に係る1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

【子供目線】

○子供が主体的に授業に参加している

- ・自らの障害特性を理解し、障害による困難さを克服するための端末活用の方法を理解している。
- ・教職員の補助を得ながら、学びたいことを自由に調べたり、学んだことを自由に表現したりするスキルをもち、活かすことができる。
- ・教職員の補助を得ながら、クラウドを活用して、教職員やクラスの友達などと学習に取り組むスキルを持っている。
- ・教職員の補助を得ながら、クラウドを活用して、自らの学びを自己調整できるスキルを持っている。
→子供がいつでも、どこでも、どの学習活動でも自由に端末を使える環境を整え、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の実現を図る。

○子供が主体的に端末を学習利用している

- ・教職員の補助を得ながらできる限り自分で端末を管理することができる。
- ・基本的な情報モラルを身に付けている。
- ・デジタル教科書を学習で利用することができる。
- ・生成AIの利活用のあり方や方法を理解して利用することができる。

【教職員目線】

○教職員が子供主体の授業を具現化している

- ・クラウドを活用して、学習状況を見取り、一人一人に応じた指導を工夫して行っている。
- ・クラウドを活用して、個々の情報を一人一人の深い学びにつなげて、資質・能力を育てている。
- ・クラウドに収集された学習データを活用して、指導や評価を充実させている。
- ・AIやICTを活用して、子供たちが主体的に学ぶ適切な学習環境をデザインしている。
- ・AIやICTを活用して、授業の準備・評価等を充実させている。

○教職員が校務DXに向けシフトチェンジしている

- ・基本的な校務DXに必要なマインドセットを持っている。
- ・教育データを利活用して、授業改善や指導の充実を図ることができる。
- ・クラウドを活用して校務を効率化し、本来必要な業務にかかる十分な時間を生み出すことができる。
- ・生成AIを活用して、校務の効果的、効率的な運用を行うことができる。

2. GIGA 第1期の総括

成果

1 1人1台端末の整備

- ・県立特別支援学校で、ほぼ全ての児童生徒に学習用端末が行き渡り、ICTを活用した学習環境が整った。
- ・端末の活用により障害による困難さへの支援等が充実し、個別最適化された学習が進んだ。

2 ネットワーク環境の向上

- ・高速大容量の通信ネットワークが整備され、オンライン学習や情報共有が円滑に行えるようになった。

3 デジタル教材の活用

- ・多様なデジタル教材が利用可能になり、児童生徒の主体的な学びが促進された。

4 教職員のICT活用能力向上

- ・教職員のICT活用能力が向上し、授業での効果的な活用事例が増加した。

5 授業スタイルの多様化

- ・リモート授業や共同編集など、新しい授業スタイルが導入され、学習意欲の向上や積極的な授業参加が見られるようになった。

課題

1 教職員のICT活用能力の差

- ・教職員によってICTの活用能力や頻度にばらつきがあり、効果的な活用方法の共有や研修の必要がある。

2 情報モラル教育の徹底

- ・インターネットの安全な利用の仕方や情報モラルに関する教育を強化する必要がある。

課題に対する解決策

1 「特別支援学校におけるICT教育推進事業実施要項」に基づく各校における取組の充実

- ・ICT活用一人一実践の実施
- ・ICT推進員の指名による活用推進
- ・ICT支援員やICT推進員等による校内研修会の開催
- ・特別支援学校におけるICT教育推進連絡研修会議における各校の実践共有
(県指定研究校の実践共有等)

2 情報モラル教育の充実

- ・ICT活用能力実態チェックシート第3版の活用による情報モラルに関する児童生徒の実態把握と実態に即した授業実践
- ・GIGAワークブックやまなしの活用
- ・ICT支援員等による研修会の実施

3. 1人1台端末の利活用方策

各教科における目標の達成や情報活用能力育成のための端末活用と、障害による困難さを克服するための端末活用の2つの側面から、有効な活用方法などの事例を整理し共有する。

1人1台端末が積極的に活用されるよう、教職員に対するICT研修によりICT活用指導力の向上を図るとともに、障害のある児童生徒等の実態に応じて、端末を活用したオンライン授業などにより学びを保障する。

それにより、各特別支援学校における教育活動のさらなる充実を図るとともに、整理した実践事例を小中高等学校へも展開することで、山梨県の特別支援教育の発展・充実を目指す。

上記の実施に必要な児童生徒1人1台端末の環境を維持するために、計画的に端末を整備・更新していく。